

令和5年10月6日

厚生常任委員会要求資料

福祉子どもみらい局

要 求 資 料 一 覧

<横浜市から県に提出された障害者虐待防止法第17条による報告>

資料1 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待について（令和4年11月の事案）

資料2 障害者福祉施設従事者による障害者虐待に係る報告（令和5年8月の事案）

<社会福祉法人同愛会から任意で県に提出された報告書>

資料3 虐待事案の調査内容・再発防止策等報告書（令和4年11月の事案）

資料4 虐待事案の調査内容・再発防止策等報告書（令和5年8月の事案）

横浜市から県に提出された
障害者虐待防止法第17条による報告

資料1

健障推第 872 号
令和 5 年 7 月 5 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

横浜市長 山中 竹春



障害者福祉施設従事者等による障害者虐待について (報告)

障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律第 17 条の規定に基づき、障害者福祉施設従事者による障害者虐待事案について、別紙のとおり報告します。

2 連絡先

担当部署	健康福祉局障害施策推進課	担当者名	██████████
電話番号	045-671-3598		



障害者福祉施設従事者による障害者虐待について（報告）

本件は、本市町村において事実確認を行った事案

- 障害者福祉施設従事者による障害者虐待の事実が認められた事案である。
- 特に、下記の理由により、悪質なケースと判断したため、都道府県の迅速な対応を行う必要がある事案である
- 更に都道府県と共同して事実の確認を行う必要がある事案である。

（注）不明の項目については記載しなくても良い。

1 障害者社会福祉施設等の名称、所在地及びサービス種別

名称	社会福祉法人同愛会 [REDACTED]		
サービス種別	多機能型 [REDACTED]		
(事業所番号)			
所在地	横浜市 [REDACTED]		
電話番号	045-[REDACTED]	FAX 045-[REDACTED]	

2 障害者社会福祉施設等による障害者虐待を受けた又は受けたと思われる障害者の性別、年齢及び障害種別

氏名	[REDACTED]	性別	[REDACTED]
生年月日	[REDACTED]年[REDACTED]月[REDACTED]日	年齢	[REDACTED]
障害の程度	<input type="checkbox"/> 身体障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 精神障害
	<input type="checkbox"/> その他		
	障害行動程度区分	5	
	行動障害の有無	行動関連項目	点

3 虐待の種別、内容及び発生要因

虐待の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 身体的虐待	<input type="checkbox"/> 性的虐待	<input checked="" type="checkbox"/> 心理的虐待
	<input type="checkbox"/> 放棄・放任	<input type="checkbox"/> 経済的虐待	
	<input type="checkbox"/> その他		
虐待の内容	利用者から職員への暴力行為に対して、利用者の興奮を助長するような言葉かけをした。制止のために足をかけ、床に倒した後、動かないように首あたりを圧迫した。相互の暴力行為を他の利用者の面前で行うことで、他の利用者の安心、安全を脅かした。		
発生要因	<input type="checkbox"/> 教育・知識・介護技術に関する問題 <input type="checkbox"/> 職員のストレスや感情コントロールの問題 <input type="checkbox"/> 倫理観や理念の欠如 <input type="checkbox"/> 虐待を助長する組織風土や職員間の関係性の悪さ <input checked="" type="checkbox"/> 人手不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	<small>利用者からの暴力行為へ組織的に対応しておらず、リスクマネジメントを含め、原因の検証がなされていない。</small>		

4 虐待を行った社会福祉施設従事者の氏名、年齢及び職種

氏名	██████████	性別	██████
年齢	██歳	職種	██████████
有する資格			

5 市町村が行った対応

通報年月日	令和5年2月15日	事実確認調査日	令和5年2月22日
事実確認後の対応	<input type="checkbox"/> 施設等に対する指導 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等からの改善計画書の提出依頼 <input type="checkbox"/> 虐待を行った社会福祉施設従事者への注意・指導 <input type="checkbox"/> その他		

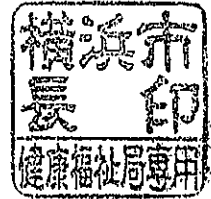
6 虐待を行った社会福祉施設等において改善計画措置が行われている場合にはその内容

<input type="checkbox"/> 施設等からの改善計画書の提出依頼 <input checked="" type="checkbox"/> その他 令和5年4月12日、施設から提出された改善計画書をもとにヒアリングを実施し、再発防止計画について助言を行った。

健障推第 1174 号
令和 5 年 8 月 24 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

横浜市長 山中 竹春



障害者福祉施設従事者による障害者虐待に係る報告

障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律第 17 条の規定に基づき、次のとおり報告します。

記

1 通知資料

障害者福祉施設従事者による障害者虐待について（報告）

2 連絡先

担当部署	健康福祉局障害施策推進課	担当者名	██████████
電話番号	045-671-3598		



4 虐待を行った社会福祉施設従事者の氏名、年齢及び職種

氏名	■■■■■■■■■■	性別	■■■■
年齢	■■	職種	生活支援員
有する資格	不明		

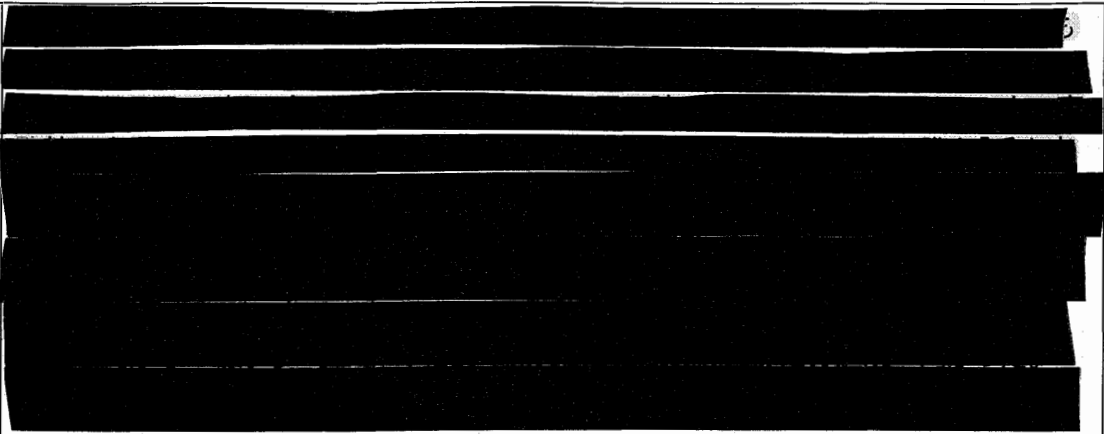
5 市町村が行った対応

通報年月日	令和5年8月3日	事実確認調査日	令和5年8月3日
事実確認後の対応	<input type="checkbox"/> 施設等に対する指導 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等からの改善計画書の提出依頼 <input type="checkbox"/> 虐待を行った社会福祉施設従事者への注意・指導 <input type="checkbox"/> その他 本事案について、調査を継続しているため、今後必要に応じて追加報告をします。		

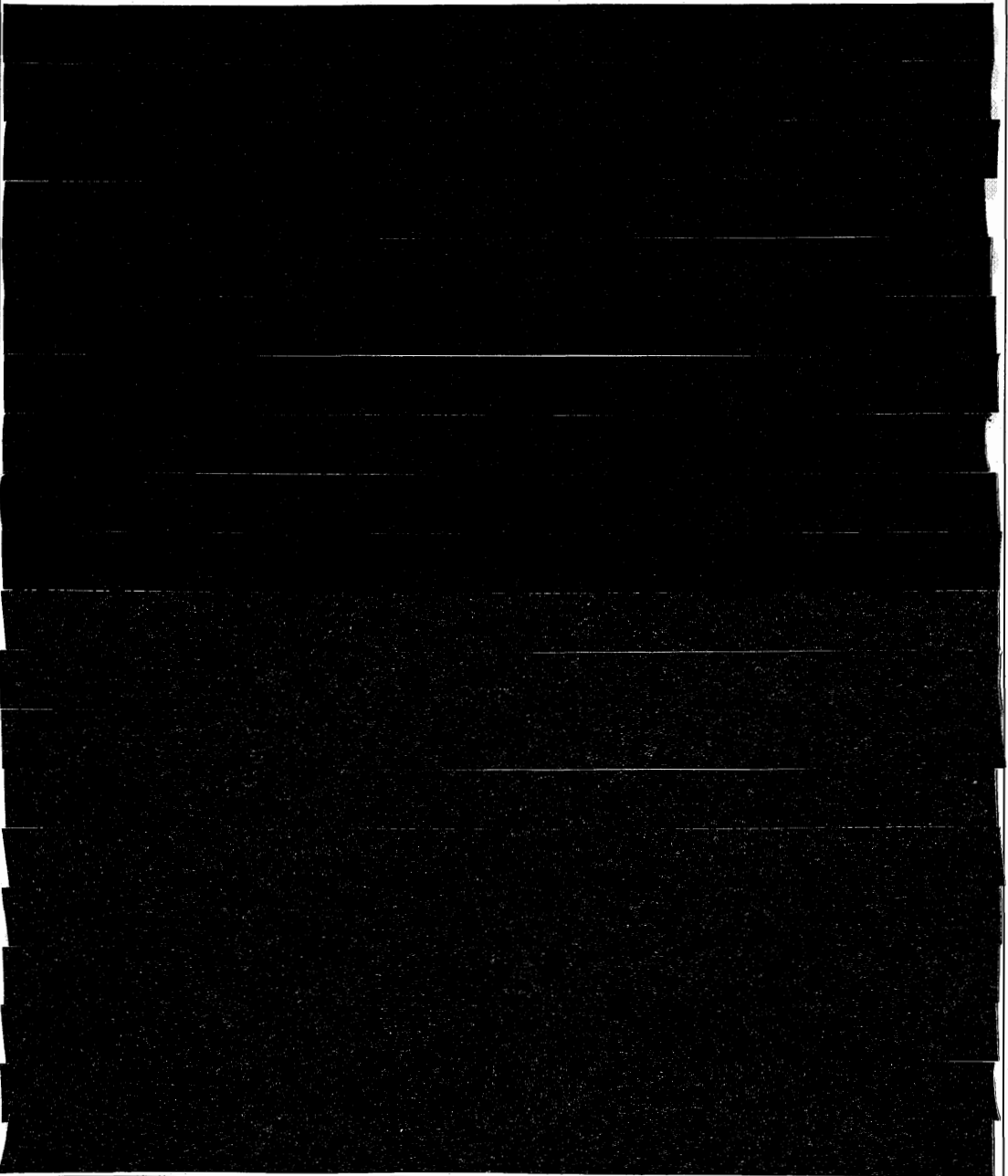
6 虐待を行った社会福祉施設等において改善計画措置が行われている場合にはその内容

<input type="checkbox"/> 施設等からの改善計画書の提出依頼 <input type="checkbox"/> その他

社会福祉法人同愛会から任意で
県に提出された報告書



以後が今回の件が改めて浮上した経過となる。



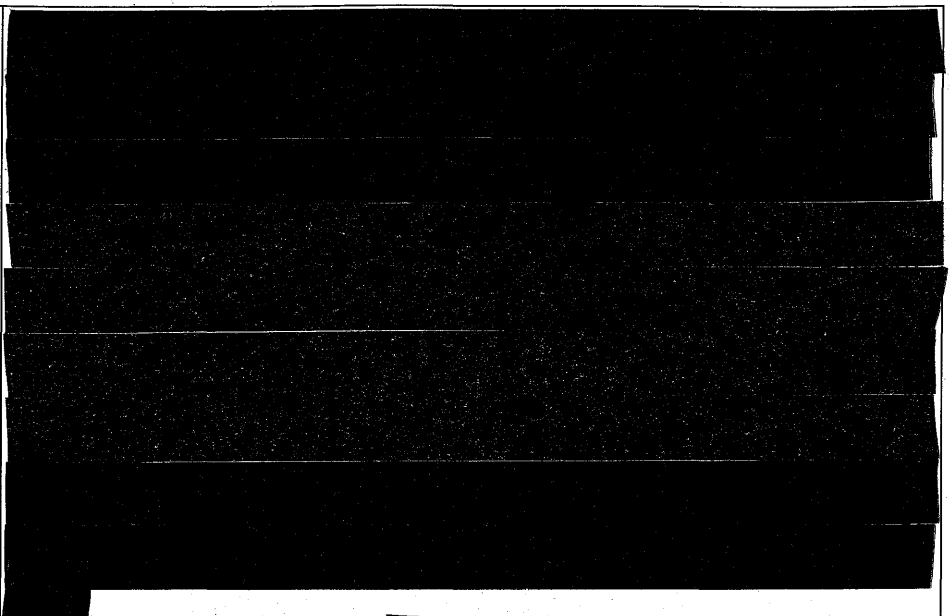


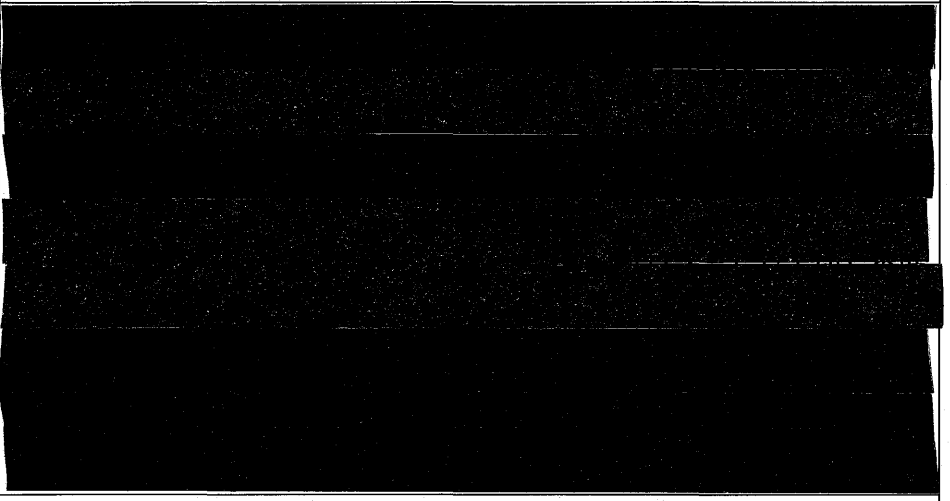
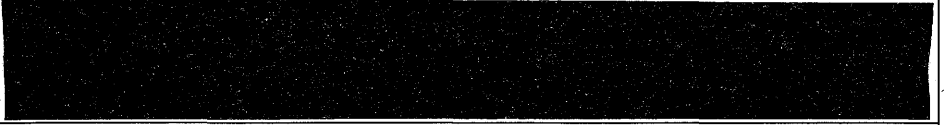

場面を何とか利用者朝礼に移し [redacted] と [redacted] 職員で利用者に対し事情説明と謝罪をした。

虐待を行った者への対応
(4月6日現在)

処遇

※内容を記入

指導内容

		 <p>集まった利用者を前にして、職員は不適切な支援をおこなったことへのお詫びと感謝の言葉を述べ、3月の勤務の時間を使って、異動について皆さんと話し合っていく思いを語った。</p>
被虐待者への対応	本人家族への説明経過	
	本人への支援内容(見直したこと)	<input checked="" type="checkbox"/> 支援の見直しあり ・ <input type="checkbox"/> 支援の見直しなし ※ありの場合、内容を記入。なしの場合、理由を記入。 
虐待に至った原因(あてはまるものにチェックして、下段に内容を記入)		<input checked="" type="checkbox"/> 教育・知識・介護技術に関する問題 職員に対する不満や不安を衝動的な行動で表現する利用者に対する対処法が十分ではないと感じている。支援者が複数で対応する、他の支援者に援助を求める、場合によってはその場から「逃げる＝時空間を開ける」等を検討する。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員のストレスや感情コントロールの問題  <input type="checkbox"/> 倫理観や理念の欠如 <input type="checkbox"/> 虐待を助長する組織の風土や職員間の関係の悪さ

	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ 課業である日々の[]にはノルマもあり、進捗管理をおこないながら特別な支援配慮を必要とする利用者への個別対応も求められ、職員体制が手薄になりがちになる。一方、職員確保困難の影響もあり、経験年数が少ない支援者が多様な利用者対応をせざるを得ない現状に対して、中堅職員の適正配置をおこなう OJT が成り立ちにくい状況となっている。 <input type="checkbox"/> その他
今回の事案の問題点	虐待を行った職員について
	[]
	施設責任者や、上司について
	[]
	支援について
	[] 医療及び福祉の専門家による助言指導を求める必要があると考えられる。
	組織運営について
年々職員確保が困難になっている。また、障害程度区分中軽度者が主力を成す施設利用者構成から、他事業所の重度対応をするための職員異動があり、中堅職員不在という結果となってしまった。[] [] 支援チーム形成が手薄になり、支援現場実態に対する組織的対応がなされていなかったといえる。ケース会議の開催も滞っていた。 その他(建物の構造、勤務体制など) [] の多機能型を成立させるため、職員配置に苦勞している。	
組織の対応としての反省点 (本事案を虐待した職員個人のみ の問題と考えず、組織の問題 と考えて全ての項目について記 入)	施設の管理者ができたこと
	[]
	支援困難な利用者支援について、管理者が支援の理論と手法を学び、組織的に検討されながら共有する支援の PDCA サイクルが必要である。
	職場の上司ができたこと
	[]
	[] 運営に対して法人からの支援を導入していた矢先の出来事であった。

	<p>職場の同僚ができたこと</p> <p>利用者本位の職場は、利用者支援に係ることについて職位や経験に関係なく「平場で対等な対話をおこなう」「ケースで始まりケースで終わる仕事」が法人の支援流儀であるが、改めて、周知徹底し、職場の活性化を図る取組を強める。</p> <p>また、今回のような即応的な対応が求められる場面では必ず複数職員で対応することが必要である。効果的なチーム形成が課題である。</p> <p>環境面で、できたこと</p> <p>設置基準から、利用者と職員が落ち着いて対話する部屋がない。荒れている気持ちを静める場がないため、老朽化の建替え時には実現する予定である。</p> <p>その他、できたこと</p> <p>当該事業所が利用者支援に行き詰まっている場合には、法人として職員参加による系統的継続的なケースカンファ、事例検討を実施すべきだった。</p>
今後の課題 (問題点、反省点を踏まえて、今後の課題を記入)	<p>職員に対して</p> <p>法人として、事業所実態に応じた職員の配置などの人事管理について振り替える必要があると感じた。</p> <p>施設責任者や、上司について</p> <p>現在、施設管理者に対しては経営ビジョンの策定及び重点実施計画書の作成を実施している。次年度は、主任に対しても重点実施計画書の作成を実施し、仕事の見える化を図り風通しのよい職場運営を図っている。</p> <p>支援について</p> <p>利用者本人本位の支援を実施するために、センター方式(認知症研究研修東京センター作成のアセスメント)を応用した意思決定支援に取り組んでいる。については、未だ不十分な取組み状況であるがゆえに急速な改善を図る。</p> <p>組織運営について</p> <p>管理職の研修と自己啓発支援を実施する。</p> <p>その他</p>
施設のこれまでの研修体制 (虐待研修以外の研修も記入)	<p>3年というコロナ禍のなか各事業所が蛸壺状態にあった。一方、職員確保が人材斡旋企業に依ることを振り返り、職場活性化を図る「場活研修」の導入、23年2月から対面による支援運営に係る職員との対話を実施した。次年度は、事例検討及びケースカンファレンスの定例化を図り実施する。</p> <p>尚、当該職員は、主任研修(法人内)、場活研修(法人内)、サビ管更新研修、相談初任者研修の受講実績あり。</p>
コンプライアンス委員会の設置の有無	<p><input type="checkbox"/>有 ・ <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>※有の場合、運用状況を記入</p>
第三者委員会の設置の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有 ・ <input type="checkbox"/>無</p> <p>※有の場合、運用状況を記入</p> <p>コロナ禍のため実質的には休止状態であった。</p>
虐待防止委員会の有無(令和4年度から義務化)	<p><input checked="" type="checkbox"/>有 ・ <input type="checkbox"/>無</p> <p>※有の場合、運用状況を記入</p> <p>法人内に設置し年3回実施。</p>

<p>対応状況 (実施しているものにチェック)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>管理職の虐待防止研修の受講※ <input type="checkbox"/>職員に対する虐待防止研修実施 <input checked="" type="checkbox"/>虐待防止委員会の設置 <input type="checkbox"/>通報義務の履行 <input type="checkbox"/>その他</p>
<p>再発防止策 (具体的に記入)</p>	<p>施設利用者の複数参加による虐待防止委員会を再編し、開催を実施し、日常的な点検を行うとともに、委員会の活性化を図り利用者支援の向上を追求する。利用者と職員が一体となって虐待ゼロを実現する。</p>
<p>再発防止策 年間取組計画 (再発防止策の運用について記入)</p>	<p>23年4月に利用者の虐待防止委員選出(自治会に依頼し2名の委員を推薦してもらう)。5月以降、毎月第二水曜日に虐待防止委員会を開催する。 その他に、下記を実施する。 ケース会議において、当該事例の様な場面に際した具体的対処法を検討し共有する。 ・当該ケースに関わる全職員に対して上記のケース会議の内容を周知、共有する。 ・全職員への虐待防止研修の実施。 ・個別ケースに丁寧に対応できる職員配置の検討。 ・各職員のストレスチェック等健康管理を行う。</p>

虐待事案の調査内容・再発防止策等報告書

作成日	令和5年9月5日(火)	作成者	
施設名		法人名	同愛会
住所	横浜市	e-mail	
電話	045-	FAX	045-
施設代表者		役職名	
法人代表者	高山 和彦	役職名	理事長
事案担当者		役職名	
施設種別			
被虐待者について	氏名・性別		
	生年月日・年齢		
	支給決定区		
	障害者手帳の種類と等級		
	区分		
	行動障害		
虐待を行った者について	氏名・性別・年齢		
	役職	生活支援員	
	勤務歴		
	雇用形態		
虐待行為の内容と経緯 (時系列で記入・他に記録のある場合は添付でも可)	令和5年8月2日(水)14時頃、 の納受品用資材置き場へ、当該職員が利用者2名 を連れて納品に行く。その際に さん、当該職員が制止をするため、馬乗りになり注意する。その後、立ち上がらせる為に頭部に膝蹴りをしている。また同じ現場にいた さんに恐怖心を与えてしまう。		
虐待を行った者への対応 (9月5日現在)	処遇		
	指導内容		
被虐待者への対応	本人家族への説明経過	8月3日(木) さんは脳神経外科を受診し検査の結果、異状が無い事を確認している。8月8日(火)11時より、 謝罪及び説明を行う。 こちらは、謝罪と 再発防止に努める事をお	

		伝える。[redacted]
	本人への支援内容(見直したこと)	<input checked="" type="checkbox"/> 支援の見直しあり ・ <input type="checkbox"/> 支援の見直しなし ※ありの場合、内容を記入。なしの場合、理由を記入。 本人と納品などで外に行く際は2名体制として、ケア出来る体制を作る事とする。また本人の特性に対しては、アセスメントの確認を会議で行い、事前予見出来る限り行い、事後での対応でなく、事前での関りを密にしていける事を会議で確認する。
虐待に至った原因(あてはまるものにチェックして、下段に内容を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 教育・知識・介護技術に関する問題	
	利用者の粗暴・突発行為に対して「抑える」対応を行う事は有るが、事後対応に気持ちが行き過ぎていた。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員のストレスや感情コントロールの問題	
	[redacted]	
	<input checked="" type="checkbox"/> 倫理観や理念の欠如	
	感情的になっていたと思われ、そこについても倫理教育が行き届いていなかった。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待を助長する組織の風土や職員間の関係の悪さ	
	[redacted] 結果的に職員チームの連携不足があった。	
今回の事案の問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ	
	事案当日に関して言えば、別の外部出張(販売)なども有り、二人出せる余裕は無かった。	
	<input type="checkbox"/> その他	
	[redacted]	
	虐待を行った職員について	
	[redacted]	
	施設責任者や、上司について	
	該当職員を一人で行かす事のリスク管理が不十分であった。	
組織の対応としての反省点(本事案を虐待し	支援について	
	[redacted]	
	組織運営について	
	当日に一人で行かせた事で支援の孤立化が起きてしまっていた。	
	その他(建物の構造、勤務体制など)	
	[redacted]	
組織の対応としての反省点(本事案を虐待し	施設の管理者ができたこと	
	[redacted]	

た職員個人のみ の問題と考え ず、組織の問題 と考えて全ての 項目について記 入)	職場の上司ができたこと [REDACTED]
	職場の同僚ができたこと 支援について話す機会をもっと持つべきであった。
	環境面で、できたこと [REDACTED] 利用者を守るリスク管理から、複数対応の実施を行うべきであつた。
	その他、できたこと
今後の課題 (問題点、反省点 を踏まえて、今 後の課題を記 入)	職員に対して [REDACTED]
	施設責任者や、上司について [REDACTED] コミュニケーションの徹底を面談など通して行う必要がある。その中で配置転換などを可能な限り行い、事故に至らない人員配置及び支援技術の構築を伝えていく必要がある。
	支援について 身体拘束の三原則に基づいて、安全確保の面から止める対応は行う場面もあるが、感情コントロール及び利用者特性を考慮する為にアセスメント力の向上及び共有を行う必要がある。そこから事前予見する支援力を職員が身に付ける必要がある。
	組織運営について 利用者の安全を第一に考えた運営の徹底。特別対応時に複数対応を出来る体制作り。職員個々の特性に対するコーチング。
	その他 [REDACTED]
施設のこれまでの研修体制 (虐待研修以外の研修も記入)	該当職員受講研修 [REDACTED] 内部研修(採用1年目研修) 令和2年6月30日 (制度理解・障害分野理解・近年の死亡事故・事故マニュアル確認・救命救急及びマニュアル確認・てんかん発作研修・障害特性への配慮と支援姿勢、ケース実践3ケース) [REDACTED] 内部研修(採用2～3年目研修) 令和4年11月20日 (障害理解・てんかんについて・支援現場事例報告)
コンプライアンス委員会の設置の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、運用状況を記入
第三者委員会の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合、運用状況を記入 虐待防止マネージャー第三者委員の部署訪問
虐待防止委員会の有無(令和4年度から義務化)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合、運用状況を記入 法人虐待防止委員、[REDACTED]、虐待防止マネージャーの外部研修受講、虐待防止マネージャーの全職員への伝達研修実施

<p>対応状況 (実施しているものにチェック)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>管理職の虐待防止研修の受講※ <input checked="" type="checkbox"/>職員に対する虐待防止研修実施 <input checked="" type="checkbox"/>虐待防止委員会の設置 <input type="checkbox"/>通報義務の履行 <input type="checkbox"/>その他</p>
<p>再発防止策 (具体的に記入)</p>	<p>事業所としては下記の点を行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な動きをする際の複数対応の実践 ・個々の利用者のアセスメントの確認作業 ・身体拘束の三原則の徹底確認 ・利用者の人権配慮の徹底。支援者視点の感情での対応を無くすための職員教育 ・職員支援の徹底(インシデントに対する面談などの早期対応) ・職員の孤立防止・適正部署への人事異動
<p>再発防止策 年間取組計画 (再発防止策の運用について記入)</p>	<p>職員会議で対応インシデントの議論活性化 研修参加での各職員の支援技術及び倫理向上 今回の件を踏まえての虐待防止研修の再受講 管理者による職員面談の実施</p>